

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和6年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「取組状態・自律度の状況把握シート」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
A	・担い手の減員やノウハウの不足が見られる中、地域に赴き支援するなど積極的に支援できている。また、関係諸団体へのアンケートやヒアリングを定期的実施するなど、地域の運営や活動を積極的に支援できている。

2 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
A	・重点施策として、地域活動協議会（以後、「地活協」という。）の組織運営に係る助言、指導、相談業務を地域づくりアドバイザーに取り組んでもらった。 ・地活協実務者学習会を2回開催し、デジタルツールの活用を推進し、導入に至る地域も出ている。 ・地域活動に対する新たな担い手を発掘していくため、地域活動になじみの薄い層に対し、効果的に情報発信を行うための広報講座の開催や ICT を活用した地域の情報発信等の支援に取り組んできた。 ・「東淀川みらい E X P O」を第9回～第11回まで3回開催した。 第9回「Welcome Party 新歓祭～みのりめぐり～」では『東淀川区の魅力に出会う3日間！』をテーマに4月に主に転入者へ東淀川区の魅力を発信した。 第10回と第11回では「カケルヒガシヨドガワ」と題し、協働をテーマに民民連携を推進した。 ・まちづくりフォーラムでは、「町内会と地活協」をテーマに今後の町会活動の在り方について講演会を行った。 ・「マチミラ★創造塾」を全4回の連続講座を開催し、参加者が考え学び、繋がり形成し、まちの未来を創造する活動が行われるよう支援を行った。 ・いくつかの地活協において、企業等との連携が始まっているが、一部の地活協にとどまっており、企業連携等を進めること

	について、情報発信と場づくりが、繋がり の 拡充のために必要な支援であり、引き続きの取組をお願いしたい。
--	--

3 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・地活協の構成団体が、地活協に対する地域の実情やニーズに即した地域づくりアドバイザーの支援が実施されていると思う割合 82.5%（令和5年度 83.2%） ・地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が地活協により自律的に進められている状態にあると思う割合 86.1%（令和5年度 89.5%）

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	・地域活動において、地域格差が広がっている。自律的に新たな取組を行う地域もある傍ら、基本的な地域運営が難しい地域も出てきている。令和5年度と比較して改善の見られる地域もあるが、引き続き支援が必要である。 ・令和7年度からは地活協の構成団体である町会の支援も業務として位置付けられる。包括的な地域支援を期待したい。 ・加えて地活協の意義や活動内容を再確認し、自律的な地域運営が行われるよう活動者の意識改革に取り組んでもらいたい。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。